

インターンシップ(就業体験)のご案内

インターンシップで社会を体験!!

インターンシップという言葉を目にしたことがある人も多いだろう。

でも、具体的にインターンシップってどんなものだろう。

どんなことができるの?どんなメリットがあるの?

参加するにはどうしたらいいの?など。

みんなが知りたいインターンシップを紹介します。

Q インターンシップって何?

インターンシップとは、在学中に自分の専攻分野に関連した就業体験をしてみることに。つまり企業の教育実習のようなもの。

実際の企業で一定期間働くことで、自分が何に向いているのか、憧れの業界の現場とは、社会人として求められるものは、といったことが明確にわかるはず。将来の仕事を考えるうえで、非常に有意義な制度なのである。

Q どんな働き方があるのだろう?

インターンシップは、基本的には企業が主体となって希望する学生を募集することになる。そこでどんな働き方をするかは、企業によりさまざま。現状では、大きく分けると次の2つのスタイルになる。

	現場体験型	成果追求型
企業の傾向	大手から中小企業まで幅広い	比較的小さめの企業 特にベンチャー企業
時期・期間	夏期に行われることが多い 1日から数週間とさまざま	通年で行われている 長期が多い
内容	会社の見学会、先輩社員との懇親会といった短期のプログラムもあれば、部署に配属されてアシスタントのような仕事をする。社員について仕事振りを見ることもある。	はじめはアシスタント。徐々に仕事を任せられ、いずれは何らかのアウトプットを期待されることが多い。仕事内容も営業やプログラマ、リサーチなど社員と同様の仕事の場合もある。

※企業によってそれぞれ具体的内容は異なってくるので、事前に確認しておくことが必要。

Q メリットは何があるのだろう

- 1) 仕事がリアルにわかる。
- 2) 漠然と憧れていた業界の仕事内容の「向き」「不向き」がわかり、ミスマッチを回避できる。
- 3) 仕事の面白さや、やりがいに気づく。
- 4) 自分の適性を発見できる。
- 5) 先輩からの本音の意見・考えが聞ける。
- 6) 社会人として求められる常識や礼儀が身につく。


Q どうやって応募するのだろう？

企業のインターンシップは、夏休みと春休みに行われるケースが多い。夏休みの場合の募集期間は5月から6月、春休みの場合の募集期間は12月から1月頃になる。
受け入れ企業に関する情報収集は、就職部のホームページや掲示板等で行うことができる。

■具体的にどうすればいいの？


1 目的を考えよう

何のためにインターンシップに参加するのか、インターンシップを通じて何を得たいのか、目的意識を明確にしておこう。単なるアルバイトではない。将来の自分探しのプログラムなのだから。




2 情報収集 応募

まず、就職部に相談してみよう。情報源を紹介してもらおう。また、自らインターネットでこまめに情報収集しよう。




3 選考

実施の方法は企業によって異なるが、基本的にはエントリーシート（応募用紙）を提出すると、面接を受けることになる。就職試験などと同様に「働く目的」「自己PR」をまとめしっかり言えるようにしておこう。




4 受け入れ 実施

一社員という気持ちを忘れずに。また、期間中は多くの社会人の方と接し、学んだことは毎日、整理しよう。また、健康管理も大切に。



5 終了・報告

インターンシップが終わったら、必ず就職部に報告しよう。きっと今後の進路選択に役立つアドバイスが受けられる。インターンシップを体験したことで自分の新たな可能性を見出すことができる。



■詳細は、就職部(Nexus4階)までお問い合わせください。